

研究課題名	慢性肝疾患に関する遺伝子研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
研究期間	実施許可日 ～ 2028年3月31日
対象者	2002年2月から2023年2月の間に、『慢性肝疾患関連遺伝子研究（ヒ M41）』において血液保存に同意をいただいた広島大学病院消化器内科および共同研究機関を受診された患者さん。
意義・目的	慢性肝疾患は、肝硬変、肝臓癌に進行しうる疾患であり、年間3万人以上が死亡しています。慢性肝疾患の原因はB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスといったウイルス感染による疾患や、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変といった遺伝的な素因によって起こる病気など多岐にわたっています。しかしながらそれらの発症・病像の進展の原因は依然不明なままであり、原因に即した治療法・予防法の確立が急がれています。本研究では慢性肝疾患の遺伝性要素を検出し、病態解明・治療法の開発を目指します。
方法	先行研究の「慢性肝疾患遺伝子研究」（ヒ M41）において、広島大学および共同研究機関にて匿名化された（氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにした）既存試料およびカルテ情報を用いて、肝臓疾患の病態と関連のある遺伝子多型について調べます。慢性肝疾患において重要な役割を持つと考えられた遺伝子については、細胞実験や動物実験などによりその機能の解析を行います。 なお、カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（GOT、GPT、Plt、Alb、Bil、ALP、PT、Hb、Glu、HbA1c、脂質関連マーカーなど）、病理所見、画像検査所見、CT および腹部超音波等の画像データ等です。
共同研究機関	ありません （先行研究における共同研究機関：広島赤十字原爆病院、済生会広島病院、JR 広島鉄道病院、JA 広島総合病院、中国電力病院、済生会呉病院、県立広島病院、中国労災病院、土谷総合病院、広島記念病院、安佐市民病院、呉共済病院、川上クリニック、国保上下病院、国立病院呉医療センター、JA 尾道総合病院、マツダ病院、庄原赤十字病院、三次中央病院、東広島医療センター、県立安芸津病院、神安内科クリニック、口和診療所、国政内科医院、呉記念病院、高橋内科小児科医院、中塩内科消化器科クリニック、はしもと胃腸科医院、白川医院、舛田内科消化器科、山野上消化器科内科、吉川医院、高石クリニック、中村内科クリニック、さなだ内科クリニック、亀川病院、呉市医師会病院、東広島記念病院、安芸太田町加計病院、高陽ニュータウン病院、柳井医療センター、虎の門病院、National Taiwan University、札幌厚生病院、堀江病院、新小倉病院、東北大学、

東京大学医学部附属病院、藤田保健衛生大学、大分大学医学部附属病院、信州大学、大阪府済生会吹田病院、鹿児島大学、愛媛大学)

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5191

広島大学病院 消化器内科 助教 大野 敦司